

第5回日中古紙セミナー開催報告

日中の古紙関係者の交流を図るため、海外古紙調査の一環として「第5回日中古紙セミナー」を開催しました。中国側3名、日本側2名の講師より、製紙・古紙産業の現状や課題及び課題解決に向けた取組み等についてご講演いただきました。また、講演後には活発な質疑応答が行われました。

開催日時 2016年11月17日（木）13時00分から16時30分
開催会場 憲政記念館
主催 公益財団法人古紙再生促進センター
参加人数 236名（国内参加者 213名、来日参加者 23名）

< 内 容 >

開会挨拶 (公財)古紙再生促進センター 代表理事 渡 良司

来賓挨拶 経済産業省 製造産業局素材産業課課長 茂木 正

講演① 「中国古紙回収業界発展の新しい段階」

中国再生資源回收利用協会 古紙分会会長 スン ジャンボウ 孫 建波

講演② 「古紙の循環利用 —製紙業の発展の強力な原動力—」

浙江景興紙業有限公司 副総経理兼生活用紙事業部総経理 シ ヘイウェイ 徐 海偉

講演③ 「持続可能な経済発展を支え、共にグリーンな生活環境を実現する CCIC

—輸入される日本古紙の品質検査に関する探究—

中国検査認証集団検査有限公司(CCIC)海外事業部プロジェクトリーダー ファン チン 冯 志新

講演④ 「古紙品質による問題と対策」

日本製紙株式会社 技術本部生産部長代理 本田 義継

講演⑤ 「日本における古紙品質向上の諸方策～J-Brandを中心にして～」

全国製紙原料商工組合連合会 理事長 栗原 正雄

質疑応答

閉会挨拶 (公財)古紙再生促進センター 副理事長 大久保 信隆

